

3類型	鋳工業品	通巻番号	4-24-018
地域資源名	東濃の木工製品	認定日	平成25年2月4日
地域	中津川市、恵那市	所管省庁	経済産業省

事業名：東濃の木工製品の「ハギ合わせ」技術を活用した木製新素材及びオリジナル家具・雑貨等の製造・販売事業

会社名：有限会社内木木工所

所在地：岐阜県中津川市付知町6831

連絡先：TEL：0573-82-4558

H P：http://www.mokunet.co.jp

FAX：0573-82-4640

http://www.tonono.jp

事業概要(新たな活用の視点)

- ・地元の東濃桧と長良杉を素材とし、東濃の木工製品に用いられる産地技術である「ハギ合わせ工法」を応用した特殊工法により木製新素材を開発した。さらに、本素材を用いたダイニングテーブルやフードプレート等の家具・雑貨等を製造・販売している。
- ・本素材は、東濃桧や長良杉をNCルーターで波型に切削し貼り合わせることによって、素材の柔らかさと温かさを維持しつつ、反り・ねじれを大きく抑えた点が特徴である。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・東濃桧や長良杉の針葉樹は、加工性に優れているが、一方で小径木であるため薄板にすると、反り・ねじれが出やすいという課題があった。この点を解決するために、高い精度で木材を曲面で切削し、ハギ合わせ(接着させ)ることで、従来では困難であった商品化に成功した。
- ・さらに、デザイナーと連携することで、現代のライフスタイルに合致したデザインの商品化を実現した。

◆市場性

- ・農林水産省の調査(平成23年)によると「消費者が生活に取り入れたい木材製品」の第1位が「木製家具」で40.7%と高い支持を集めている。木材製品に対して、木の香りや手触りを楽しむとともに、温もり・癒しを求める消費者ニーズが存在している。

◆販路

- ・高級志向で個性的なインテリア空間を好む層(30~40代の女性)をメインターゲットにし、インテリア関連の商社や小売店への販路開拓を目指す。また、新素材(ブランド名：Uパネル)そのものも家具メーカーや建材メーカーに対して販路開拓する。

地域資源における関係事業者等との連携

- ・地元の木工品製造事業者(つけち木工の会)や建築業者と連携しながら事業を進める。
- ・岐阜県が主催するイベントに参加するとともに、岐阜県の公的支援機関や岐阜県商工会連合会・中津川北商工会とも連携を強化させながら事業を進める。



【特殊工法による新素材】



【ダイニングテーブル】



【フードプレート】